

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	32310	電話	
担当部課名	土木部	道路整備	課	まちづくり道路 班
事務事業名	小田急小田原線相模大野4号踏切道改良工事委託			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	円滑な道路交通の確保	14年度
施策名	第1施策	道路渋滞箇所の解消	

## 2 実施根拠及び関連法令等

踏切道改良促進法
----------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
当該踏切は朝夕の通勤、通学路として利用されているが、踏切幅員が3.5mと狭いため車と歩行者や自転車が輻輳し危険な状況となっている。踏切改良を施し、新たに2.0mの歩道を整備して車と分離を図り、歩行者や自転車の安全を確保するものです。	駅への通勤、通学者 鶴の台小学校児童(通学路として) 地元住民 対象数 歩行者...924人 自転車...1,674台
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
踏切改良工事 歩道新設工 1式 鉄道支障施設移設工 1式	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 踏切道改良事業	基本ア 道路交通上支障となっている課題箇所の解消 踏切道の整備、改良
計画年次 14年度～	年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	整備実施率	整備延長/目標整備延長 *100	踏切の供用開始にあわせた整備目標であり、目標の設定が重要である。			100		
活動指標	整備実施率	整備延長/目標整備延長 *100	踏切の供用開始にあわせた整備目標であり、目標の設定が重要である。			100		

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費			73,892		
決算(予算)額					
人員・時間数			1人・1.5日		
人件費			400		
その他経費					
合計	0	0	74,292	0	0
特定財源					
対象数			2,598		
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	28.6	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	踏切の拡幅改良は、当初鉄道事業者より難色(他の踏切の廃止)を示されたが、歩行者の安全の確保をはかるための事業であり協議をかさねた結果、了承を得られた。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 踏切幅員が3.5mと狭く、車同士のすれ違いも出来ない状況で、小学校の通学路として指定された踏切であり、踏切拡幅の必要性を地元自治会、小学校より強く要望された。
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	歩道幅員が2.0m確保され、歩行者の安全が確保された。 踏切外の歩道の整備も今後行なう必要がある。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 踏切の整備については、鉄道施設への影響が大きく、移設費用が多大なものとなる。今後、コスト縮減に向けた工法の検討が鉄道事業者と行なうことが必要である。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	踏切への勾配を緩くし、お年寄りや車椅子での利用等の利便性の向上を行なった。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 鉄道事業者との協議を密に行い、工法等の検討を行なうことでコスト縮減の成果が期待できる。	手段	鉄道施設の事業であるため削減の手段については鉄道事業者へ委ねざるをえず、コスト縮減への協力を要請する。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 他の自治体についても同様に鉄道事業者への委託であるため、比較は困難である。
	今後の進め方	
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 踏切改良事業は、歩行者の安全の確保やスムーズな道路交通の実現を図るためにも必要な事業である。本事業についても、歩行者の安全確保の観点からも効果は得られた。今後、コスト縮減をはかることが必要である。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--